

### 【取組の概要】

地方公共団体は、多くの避難者を適切に避難場所へ誘導するため、避難経路の確保を行います。円滑な避難を促すため、十分な幅員の避難経路を確保するとともに、高齢者等へ配慮した避難経路を確保します。

### 【計画、整備にあたっての着眼点・留意点】

#### ○避難経路及び沿道の対策

- ・避難経路を対象に、家屋倒壊や橋梁の落橋等の防止対策の実施が必要です。また、夜間の避難を考えた避難誘導灯（太陽光発電式）の整備、高齢者等の円滑な避難のために、階段への手すり設置やスロープ整備を検討する必要があります。
- ・既成市街地等における避難路の拡幅は、地権者の理解を得ることが難しい場合があります。電線類の地中化や電柱倒壊等の防止を含めて、長期的な視点で進めていくことが求められます。
- ・液状化等によるマンホールの浮き上がりや、津波によってマンホール蓋・側溝蓋がなくなり開口部が生じる状況等も想定され、安全かつ速やかな避難が可能となる避難経路を検討しておくことが重要です。

#### ○複数ルート等の選定

- ・家屋倒壊等により、避難経路が利用できない事態も想定されることから、代替路の確保・検討が必要です。
- ・避難経路の確保のためには、地域の津波避難計画を策定し、具体的に「この地域の住民は、この避難経路を通して、避難場所・避難所に向かう」という確認を行う必要があります。

#### ○土地の確保

- ・地域からの避難経路整備の要望に対して、土地の無償貸与を受け、経路の拡幅・整備を行っている事例があります。

### 被災地からの声

- ・避難経路にある橋梁の耐震化や堤防の整備が行われていた箇所では、津波が来るまで壊れることがなかったことから、住民の円滑な避難が行われた。主要な避難経路におけるハード整備の重要性を認識することができた。



### 【事例】

#### ○中土佐町の取組み

##### ・久礼小学校への避難路を拡幅

- ・中土佐町では、昭和南海地震の発生時に、避難場所となる久礼小学校へ向かう避難路が狭く、人が殺到したとの証言があります。また、避難路沿いの法面が脆弱であることから土砂災害の可能性も懸念されるため、避難路を拡幅し、スロープや手すりを設けるとともに、土砂災害対策を行いました。

(整備前)



(整備後)



#### ○黒潮町の取組み

##### ・「蓄光材」を活用した避難階段の整備

- ・黒潮町では、夜間の避難をいち早く行うため、日中にため込んだ光を発光する「蓄光材」を使用した避難階段の整備が行われています。



「蓄光材」を活用した避難階段

## 5 災害に強いまちづくり計画



### ○香南市の取組み

#### ・土地の無償貸与も含めた避難道の整備

- ・香南市は、津波浸水が始まるまでが極端に短い地域であることから、高台への速やかな避難の実現を図るため、津波避難道等の整備を進めています。
- ・避難道の整備の際に民地を含む場合は、土地の無償貸付により用地をご提供いただいたうえで整備を進めています。



夜須町出口【城山避難道】



夜須町手結山【東池尻避難道】

### ○中土佐町の取組み

#### ・被害予測マップの作成と活用

- ・令和3年3月、高知大学防災推進センターとの官学連携のもと、沿岸地区の被害予測マップの作成が概ね完了しました。被害予測マップは構造物耐震化や津波避難経路の確保等の推進のための資料として活用可能であり、津波避難重点路線の設定に利用しています。
- ・これまでも老朽住宅除却等による避難路確保対策を実施してきましたが、点よりも線で対策するほうが効果的であるという考えがありました。



津波避難重点路線

(出典：中土佐町提供資料)

- ・そこで高知大学と連携した研究の結果、避難路閉塞の危険性が高いと思われる路線を「津波避難重点路線」として設定し、当該路線沿線の老朽住宅等については除却の補助金を100%とすることで、避難路確保対策を重点的に実施しています。
- 地域防災計画の中でもこの取り組みを明記し、中土佐町全体で推進を図っています。